



高木 教夫

学校統廃合の問題について

平成16年の学校構想検討委員会が時期尚早との見解はどの様な内容で判断されたのか

学校構想検討委員会は、町の学校教育全体の方向性を検討する目的で設置された。

教育課題として「少人数クラス」「通学区域制度」「学校・家庭・地域の役割分担」「子供たちの学力低下」「小中高一貫教育」6項目を抽出されたもの。時期尚早に付いて16・17・18年と検討した結果ですが、16・17年位がちょうど人数が減ってくる境目でしたが、この時点では時期尚早との提言を受けて判断した。

教育委員会の基本方針案が住民に十分知らされない中バブコメの募集に入り、住民が戸惑っていた。本来ならば基本方針を作成する時点で、事前に意見・要望を取り上げ参考とし一定の基本方針を出すのが筋ではないか

一、学校統廃合の問題について
二、中小業者に対する緊急支援対策及び振興策について

今回どのような形で募集をしようとしたのか。

少子化・耐震問題等で、学校をどうするべきかの計画を立て方向性を示す為に教育委員会で検討し、教育委員会の職務ではあるが町全体に関わる問題なので、住民の意見を聞くことと「学校教育検討委員会」を設置し、答申を受け教育委員会の基本方針決定をして行く為に、バブコメで意見を求めた。先に案を示しコメントを求めていくのが筋で有用な意見があれば反映しなければ基本方針を決定して行く。

中小業者に対する緊急支援対策及び振興策について

融資の保証料軽減処置制度の確立について

近隣の池田市では、府の市町村連携型融資制度を活用し、保証料の割引がされており、12月4日の金融機関に借金猶予を促す中小企業等金融円滑法「モラトリアム法」

が施行されるところでありますので、本町と致しまして、今後これらの制度の動向を注視し現在の融資制度の活用で中小業者を支援していく考えである。

小規模修繕工事契約希望者登録制度の確立について

本町の公共調達は町内業者への発注を基本とし、建設業の許可を有していない業者であっても営業等に關する資格を有していれば申請可能、現行制度「入札参加資格審査（申請日23年2月）」の運用で対応できると考えている。

税金・国保滞納分を経営者以外の家族の貯金等を事務的・機械的に差し押さえない様に配慮する考えはあるか。

差し押さえは、滞納者本人の財産が対象であり、その事によって事業・生活の維持が困難な場合は納税相談等により対応する事務的・機会的な差し押さえはしません。

一般質問



谷 義樹

能勢町の少子化対策について

若者が能勢を離れる理由は、どこにあると思えるか？

社会の高度化でライフスタイルが多様化し、就学や就業がより広範な状態の中で行われるようになったことによると考えている。

子育て世代を増やすための、町の具体策は？

子育て支援の充実が最も即効性のある施策であるとの判断で、その推進を図っている。

「働く場所の確保」策は？

地区指定による企業誘致等も考えられるが、即企業誘致の段階には至っていない。農用地区域が網羅されている本町にあつては、企業誘致はできにくい状況にあり、従来どおり他

一、能勢町の少子化対策について
二、鳥獣害防止計画について

の市町村との役割分担の中で、就業の確保を図っていききたい。

町のターナー、Uターン、Jターンの受け入れ策は？

それらの方を他の町住民に比べて優遇するような町の施策は、現在講じていない。

通勤・通学者の、バスの便を、増やせないか？

本町は府下有数のモーターゼーションの進展地域で、バス便の増加や営業時間の拡大等、利便性の拡大については現在の補助金を増額しない限り難しい状況にある。

ただ能勢特有の問題もあり、学校問題で地元説明に回る際は、通学バスに一般乗客も乗れるようにする等、複合的なことをすべて考え、やれるところは全部やり抜く考えで進めていきたい。

鳥獣害防止計画について

狩猟免許取得講習会の実施結果は？

20名が受講され、全員が狩猟免許を取得された。

猟友会に入らなければ、活動出来ないのか？

猟友会に有害鳥獣の捕獲を依頼している関係で、狩猟試験申し込み時に、猟友会に入ってもらおうようお願いしている。

猟期に入ってから、奥に逃げ込んでしまい、なかなか捕まらないうと聞く、現在の捕獲状況は？

実数把握は出来ていないが、例年と同程度は見込めると思う。

センサーで動きを把握する等、科学的な手法で対応できないか？

鳥取県で策定された、「鳥獣対策とらの巻」等の資料をもとに、現在協議会で対策を練っている。